

2012年4月4日
共同コンピュータ株式会社
日立公共システムエンジニアリング株式会社
株式会社日立システムズ
株式会社日立製作所

福井県勝山市が、 共同コンピュータの提供する財務会計システムなどの クラウドサービスの利用を開始

自治体や民間企業向けの IT ソリューションベンダー、共同コンピュータ株式会社（本社：福井県福井市／代表取締役社長：村井 幸夫／以下、共同コンピュータ）が提供する財務会計などの自治体向け内部事務システムのクラウド（SaaS 型）サービスを、福井県勝山市（以下、勝山市）が、2012年4月2日から本格的に利用開始しました。

勝山市は、福井県の中で、東部に位置しています。今回、庁内の内部事務システムの更新に伴い、システム導入・運用コストの低減、災害時のデータ保全への対策、今後の法改正対応への電算経費節減を検討していました。そこで共同コンピュータは、自治体のさまざまな基幹業務システムを短期間で導入できるクラウドのサービスを勝山市に提案し、採用されました。

今回の共同コンピュータが提供するクラウドのシステムは、株式会社日立製作所（本社：東京都千代田区／執行役社長：中西 宏明／以下、日立）のグループ会社である株式会社日立公共システムエンジニアリング（本社：東京都江東区／取締役社長：建部 清美）が開発・提供している自治体向け財務会計システム「e-財務」と自治体向け人事給与システム「e-人給」を、株式会社日立システムズ（本社：東京都品川区／代表取締役 取締役社長：高橋 直也）のデータセンター内に設置した日立のハードウェア関連製品（日立統合サービスプラットフォーム「BladeSymphony」（ブレードシンフォニー）、統合システム運用管理「JP1」など）上で稼働させ、サービスを提供するものです。

今後も、共同コンピュータは日立グループと連携し、福井県をはじめとする北陸の自治体向けに、クラウドサービスの形態でサービス提供する内部事務システムを提案していきます。

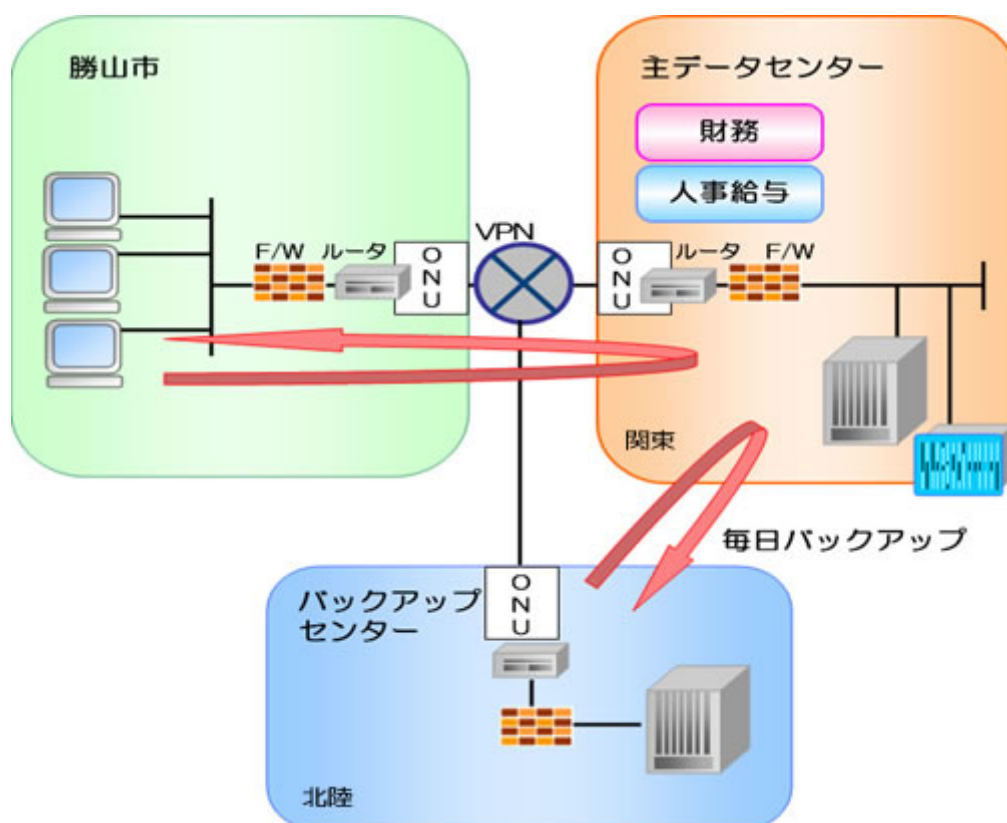


図1 勝山市クラウドサービス システム概要図

また、日立グループのクラウドソリューション「Harmonious Cloud」のひとつである、自治体向けクラウドソリューションは、今回の勝山市を含めた約70団体に採用されており、その実績を活かし、全国の自治体に向け拡販していきます。さらに、全国各地のパートナー企業との連携を強化するとともに、パートナー企業が自治体にクラウドサービスを提供するためのクラウドセンターの設置も支援していきます。

■共同コンピュータ株式会社について

共同コンピュータ株式会社は、受託計算業務の専門会社として福井商工会議所のイニシアティブのもと、昭和43年に株式会社福井共同電子計算センターとして設立され、平成16年10月より持ち株会社制導入により「共同コンピュータホールディングス（現・KYCOMホールディングス株式会社）」のもと新たな体制でスタートいたしました。これまでのさまざまな分野での活動を通じて蓄積してきた業務システム開発技術を中心に、近年は自治体向けSaaS・医療系・文教系ソリューション開発に取り組んでいます。

<http://www.kyd.co.jp/kyodo/>

■報道機関のお問い合わせ先

- 株式会社日立システムズ
CSR 本部コーポレート・コミュニケーション部 松林／杉山
〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号
TEL : 03-5435-5002

このニュースリリース記載の情報（製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL など）は、発表日現在の情報です。予告なしに変更される可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
